

GW1：ケアマネジャーの意思決定支援におけるアンケート結果を聞いて

- ・ 家族からの医療的な相談が多い
 - 医療的な相談を受けた時に誰に相談するのか
- ・ ケアマネ個人の意見は違うというのに驚いた
- ・ 年齢や基礎職種によって違うのか
- ・ 個人としての希望と、仕事の立場での意見は違う
- ・ いつから看取りを意識していけばいいのかわからない
- ・ 本人の意思を聞くタイミングがわからない
- ・ どう意思決定を切り出すのか
- ・ 関わりの最初も聞きにくい、終末期にはリアルすぎて…
- ・ 終末期の相談があっても、医療職ではない為、予後予測できず、自身がない
- ・ 経過、過程のイメージができず、想定した助言ができない。
- ・ 訪問看護の話にもついていけない。苦手。

GW2：これまでの意思決定支援を振り返り、今後望まれる支援について

◎医療との連携（多職種連携）

- ・ 医師にも意思決定支援について、知っておいて欲しい
- ・ 医師だけでは看取りはできない、多職種のバックアップ体制
- ・ 介護が必要になる前から（先を見据えて）多職種（チーム）で関わる土台を作ってほしい。
- ・ 本人、家族が選択できるよう、今後の医療的な見解を十分説明し伝えてほしい。
その後のフォローをチームで支援。
- ・ 選択できる情報提供が、経過に応じて都度きちんとされていること。
- ・ 本人苦しみ、不安の軽減。病院側からのフォロー（悪くなったら病院へと）
- ・ 訪問看護との連携、医療面の説明など役割分担
- ・ お互いに遠慮なく、踏み込んだ連携

◎本人・家族支援

- ・ 最終段階の話をするタイミング（死をイメージするのは難しい）
- ・ 信頼関係、エンディングノートの普及、入退院時などを機会とするなど早い段階から、先を見据えて種をまく。（考える機会作り）
- ・ 本人・家族の気持ちは変わり揺らぐものである。寄り添うこと、変化、揺らぎが有る事を理解し支える。
- ・ CM は家族と医療のつなぎ役を担う

◎CM教育（医療的知識）

- ・ 意思決定支援に関する知識、勉強する場が必要
- ・ 成功経験の共有